



連勝止まらず、一気に王座へ



▶ 名手・武豊騎手とともに頂点へ上り詰めたいンティ

ノンコノユメ、ゴールドドリーム、モーニンと過去3年の勝ち馬が揃って出走したほか、東京大賞典を制したオメガパフューム、ここまで6連勝中のインティも参戦し、注目度は高まるばかりとなった春のダート王を決める大一番。さらに、4連勝で臨んできたコパノキッキングは鞍上に藤田菜七子騎手を

迎え、JRA所属の女性ジョッキーでは初のJRA・GI参戦という話題も加わって、2月の寒さを感じさせないほどの熱い盛り上がりを見せた。

先手を取ったのは1番人気のインティ。好スタートを切ったサンライズソアを交わして先頭に立つとピタリと折り合い、武豊騎手に導かれてマイペースの逃げに持ち込む。モーニンは好位を進み、中団ではゴールドドリーム、ノンコノユメ、オメガパフュームらが追走。注目のコパノキッキングは、馬群のほぼ最後方に控えて進出の機をうかがった。

4コーナーを迎えてもインティの逃げ脚は軽快そのもの。馬群を率いて直線へ向くと一気に後続を引き離しにかけ、2番手以下に5、6馬身の差をつけてラストスパートに入った。そのとき集団から抜け出してきた2番人気のゴールドドリームが、豪快なフットワークで一完歩ごとにインティとの差を詰める。ゴール寸前まで2頭による息詰まる激闘が繰り広げられたが、インティがクビ差で振り切って栄冠を勝ち取った。

離れた3着には8番人気のユラノが入り、3年前の優勝馬モーニンは粘って4着、3番人気オメガパフュームは10着、前年の覇者ノンコノユメは13着に敗退。コパノキッキングは直線で外から追い込んだが、勝ち馬からは1秒0差の5着に終わった。

インティはデビュー戦を9着に敗れたものの、そのあとは負けなしの7連勝で一気にGIウイナーの座まで駆け上がった。このレース5勝目をあげ、自身が持つ最多勝利記録を更新した武騎手は、「とても強い競馬ができました。ニュースターの誕生だと思います」とパートナーの走りを絶賛。インティの連勝はどこまで続くのか……と、ファンにも大きな期待を抱かせる快勝劇だった。



▲ レースの主権を握るインティ(帽色・青・手前)が楽な手応えで直線へ。

第36回フェブラリーステークス「GI」

2/17 東京競馬場 1600m(ダート・左) 晴・良 14頭

着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	インティ	牡	5	57	武 豊	野中 賢二	1:35.6	①	①①
2	ゴールドドリーム	牡	6	57	C.ルメール	平田 修	クビ	②	⑥⑥
3	ユラノ	牡	5	57	福永 祐一	松田 国英	4	⑧	⑥⑥
4	モーニン	牡	7	57	和田 竜二	石坂 正	1 1/4	⑨	⑤③
5	コパノキッキング	騾	4	57	藤田菜七子	村山 明	1/2	④	⑬⑭
6	サンライズソア	牡	5	57	田辺 裕信	河内 洋	クビ	⑤	②②
7	サンライズノヴァ	牡	5	57	戸崎 圭太	音無 秀孝	1 1/4	⑥	⑩⑩
8	サクセスエナジー	牡	5	57	松山 弘平	北出 成人	1	⑪	③③
9	ワンダーリーデル	牡	6	57	柴田 大知	沖 芳夫	1/2	⑭	③③
10	オメガパフューム	牡	4	57	M.デムーロ	安田 翔伍	3/4	③	⑥⑧
11	クインズサターン	牡	6	57	四位 洋文	野中 賢二	3/4	⑩	⑬⑭
12	ノボバラ	牡	7	57	F.ミナリク	森 秀行	2	⑫	⑩⑩
13	ノンコノユメ	騾	7	57	内田 博幸	加藤 征弘	1/2	⑦	⑥⑧
14	メイショウウタゲ	牡	8	57	北村 宏司	安達 昭夫	クビ	⑬	⑩⑩

単勝 ⑥260円 複勝 ⑥130円 ③120円 ②340円 枠連(3-4) 410円
馬連 ③-⑥430円 馬単 ⑥-③750円 ワイド ③-⑥230円 ②-⑥1,100円 ②-③760円
3連複 ②-③-⑥2,310円 3連単 ⑥-③-②6,620円

ハロンタイム 12.4-11.5-11.9-12.2-12.2-11.6-11.4-12.4
通過タイム 600m③35.8-800m④48.0-1000m⑤1:00.2-1200m⑥1:11.8-1400m⑦1:23.2

優勝馬 **インティ**
2014.4.8生 父ケイムホーム 母キティ 母の父Northern Afleet
浦河・山下恭茂生産 馬主:武田茂男氏